

News Letter

ヌビア地方(アスワン/ナセル湖周辺) — 魅力ある独自の文化と美しい島々



カイロから南 899km のアスワンの町は、ナイル川の東岸に位置しています。町には金や香油、象牙などの交易の中心地だった名残が多く残っており、西岸の貴族の墳墓やダムへの水没を免れた遺跡など、見どころが盛りだくさんです。

ナイル川のほとりにはクルージングの豪華客船が停泊しており、その付近にはファルーカという小さな白い帆船が浮かび、彩り豊かな風景が印象的です。

アスワンの町は非常にシンプルで、主要な道路としては、ナイル川沿いに 2km ほど延びるメインロード、コルニーシュ通りと、その東側に延びる 2 本の大きな通りがあります。コルニーシュ通りには銀行や商店が並び、2 本の道路の 1 つ、サアド・ザグルール通りは、スーク通りという別名を持つように、活気あるスークが軒を連ねています。

また、アスワンを北端として広がる世界最大の人口湖、ナセル湖はヌビア地方における見ごたえのある観光地の 1 つです。ヌビア地方の代表的遺跡でもあるアブ・シンベル神殿を始め、カラブシャ神殿などの大きな神殿は、アスワンハイダム建設時に移動・分解移築されており、これらの遺跡は優雅なナセル湖クルーズで楽しむことができます。



スーク通りのにぎわい

● アスワンの見どころ ●

アスワンの見どころはナイル川に浮かぶ島々や市街地などに広がっており、イシス神殿のように船を使わないと行けない場所が多いのが特徴です。また、19世紀初頭より冬のリゾート地として人々から愛されてきました。

アギルキア島

アギルキア島にはアスワンハイダム建設に伴い、フィラエ島(現在はナイル川に沈んだ島)にかつてあったフィラエ神殿(別名:イシス神殿)が移築されています。

フィラエ神殿は「ナイルの真珠」とも呼ばれています。プトレマイオス王朝から古代ローマ時代に建てられたもので、ローマ皇帝の命令により閉鎖されるまで、古代エジプトの信仰が生き続けた最後の神殿です。



フィラエ(イシス)神殿

エレファンティネ島

アスワンの中で最も古い町でもあるエレファンティネ島は、古代エジプト時代において交易や前線基地として非常に重要な島とされてきました。現在島の南東部にはアスワン博物館があり、アスワン地方とヌビア地方で発見された遺物が集められています。

また、この島にはローマ時代にさかのぼるナイロ・メーター(ナイル川の水位を測定するための階段)があり、人気ある観光スポットの1つです。



エレファンティネ島

キッチナー島

エレファンティネ島の近くにある小島 キッチナー島は、イギリス支配時代に英国人将校キッチナーが住んでいたことから名付けられました。この島は、世界中の熱帯植物を集めた植物園のようになっていて、華やかな色の調和とエキゾチックな花の香りが楽しめます。

アスワンハイダム

水の安定供給と発電のため、1970年に旧アスワンハイダムの代替として建設されました。全長約3,600m、水面から平均111mの高さがあるアスワンハイダムは、エジプトの消費電力の一部をまかなっています。



アスワンハイダム

切りかけのオベリスク

アスワンから南へしばらく進むと古代の石切り場があります。3面は切り取られており、底面が岩盤と繋がったままの未完成なものであり、完成していれば高さ41m、重さ1,150トンと推定されます。このオベリスクは、作業途中でひびが入ったために放棄されたと言われています。



切りかけのオベリスク

ヌビア博物館

ユネスコの援助で建てられた博物館で、ナセル湖周辺から発掘された遺物や、アスワンハイダムによる水没を逃れた彫像が展示されています。中でも、アブ・シンベル神殿の精巧な模型は、移築の様子が分かりやすく紹介されています。



ヌビア博物館

● ナセル湖周辺の魅力 ●

世界最大の人口湖 ナセル湖は、北端のアスワンから南端はスーダンのワーディ・ハルファまで続いており、南北の長さ約 350km もあります。アスワンハイダム建設によってヌビア地方のナイル川流域の遺跡は水没することとなりましたが、代表的な神殿は移動・分解移築されており、現在もナセル湖クルーズで見学することが可能です。

アブ・シンベル大神殿

アブ・シンベル大神殿はアスワンから南に 280km に位置し、ラムセス 2 世によって建設されました。岩を切り崩して作られたこの神殿は、高さ 33m、幅が 33m あり、まさに圧巻といえます。

また、建物正面には高さ 20m の 4 体のラムセス 2 世の像があり、左から順に若い頃から老年の顔になっているという説があります。

神殿内最奥の至聖所にはプタハ神、アメン神、ラムセス 2 世、ラー・ホラクティ神、の 4 体の像が並び、1 年のうち 10 月 22 日と 2 月 22 日の 2 日だけ、朝日が東から西へ真直ぐに差し込み、冥界神であるプタハを除く 3 体の像を照らすという神秘的な光景を見ることができます。



アブ・シンベル大神殿

アブ・シンベル小神殿

アブ・シンベル大神殿からほど近い場所に、ラムセス 2 世が王妃ネフェルタリのために建造したアブ・シンベル小神殿があります。大神殿と比較するとサイズの違いは歴然だが、ラムセス 2 世の立像が 4 体、ネフェルタリの立像が 2 体並ぶ姿は壮観です。

足元には彼らの子供達の像が刻まれ、時空を越えてもなおラムセス 2 世の家族への無償の愛が感じられます。

カラブシャ神殿

カラブシャ神殿はユネスコにより水没の危機から救済された神殿で、もとは 50km 南にありました。グレコ・ローマン時に建設され、ヌビアの太陽神マンドリス、下エジプトの女神ワジェド、鳥の姿をしたマンドリスの三神が祭られています。内部のレリーフが美しいことでも知られています。



カラブシャ神殿

ナセル湖クルーズ

アスワンやアブ・シンベルから出航するナセル湖クルーズは、お勧めのクルーズコースです。ハイ・ダムにより出現した広大なナセル湖クルーズでは、アスワンやアブ・シンベル周辺の遺跡が巡れるほか、ナセル湖岸の自然に触れられ、夜は満天の星が頭上を覆う、ロマンチックな雰囲気包まれます。



クルーズの様子

【お問い合わせ先】

エジプト大使館エジプト学・観光局 PR 事務局 株式会社プラチナム
與芝(ヨシバ)、渡部(ワタベ)

Tel: 03-5572-6073 / Fax: 03-5572-6075

エジプト大使館 エジプト学・観光局

観光参事官 イブラヒム カリール

Tel: 03-3589-0653 / Fax: 03-3589-1372